

達成度(評価)			
A: 十分達成できている	C: やや不十分である		
B: おおむね達成できている	D: 不十分である		

学校名	有田工業高等学校(全日制)		
1 前年度 評価結果の概要(簡潔に)	・学力の向上、心の教育、健康・体づくりについては、目標指標に対して、達成度はAまたはB評価と一定程度の成果を上げることができた。 ・業務改善及び教職員の働き方改革の推進については、時間外在校等時間が45時間を超える職員の割合は23%と減少傾向であるが、教職員のウェルビーイングの向上に向けて、さらなる業務改善に努める。 ・唯一無二の学校づくりについては、令和4年度から重点校として3ヶ年取り組んできたSAGAコラボレーション・スクール事業を完了したが、次年度以降、これまで取り組んできた地域連携事業のブラッシュアップとともに新たな地域連携事業を開拓する等、学校の魅力の磨き上げに努める。 ・これまで実践してきた学校HPでの「まいにち更新」に加え、生徒によるInstagramによる情報発信、地域みらい留学HPの掲載情報の充実等により、学校の魅力発信に努め、本校を志願する生徒増に向けて取り組む。		
2 SAGAスクール・ミッション 学校教育目標	【スクールミッション】 ○有田が持つ様々な地域資源を活用し、ものづくりを通して生涯学び続け、新しい価値を生み出す技術者を育成する。 ○国内初の陶器工芸学校の伝統を継承するセラミック科、デザイン科の魅力を磨き上げるとともに、広く県内外に発信して生徒を募集し、学校及び地域の更なる活性化を目指す。 【学校教育目標】 勉脩「愛し」「創り」「光れ」を礎とした自立した人間の育成 「愛し」：自分を大切に、他人を思いやる 「創り」：新しいことに積極的に挑戦していく 「光れ」：一人ひとりが社会に貢献できる人間になる		
3 スクール・ポリシー	アドミッション・ポリシー ・ものづくりに関しての興味・関心が高い生徒 ・専門的な知識・技術を身につけるために、各学科の学びや資格取得に積極的に取り組もうとする生徒 ・地域や社会に何かの形で貢献したいという意欲のある生徒	カリキュラム・ポリシー ・ものづくりの技術者として必要な、基礎学力と専門的な知識・技能を習得できる授業を行います。 ・学校行事・ホームルーム活動や部活動、地域との連携などによる協働活動を通して、社会人としての基本的な姿勢や思いやりの心、自律心を伸ばします。 ・生徒会活動や資格取得・コンテスト参加について、生徒の主体的、自発的な取組となるようにサポートを積極的に行います。 ・生徒それぞれが個性や長所を把握できる取組や、3年間を見通したキャリア教育で、生徒の進路意識を育み、進路実現につなげます。	グラデュエーション・ポリシー ・ものづくりを通して、生涯学び続ける技術者となる生徒 ・自己や他者、地域を愛し、地域から愛される生徒 ・積極的に挑戦し、新しい価値やものをづくり出す生徒 ・個々の個性を光らせ、地域や社会に光を灯す生徒
4 本年度の重点目標	・「地域を愛し地域に愛される学校づくり」を通して、地域振興に貢献する。 ・本校が有する4つの学科(セラミック科、デザイン科、機械科、電気科)の魅力発信を通して、県内外における生徒募集に努め、志願者数の増加に向けて取り組む。		

5 重点取組内容・成果指標

(1)共通評価項目

重点取組			
評価項目	取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組
●学力の向上	○ものづくりの技術者として必要な基礎学力及び専門的な知識・技能を習得するための授業改善 ★科・学年での組織的・系統的な進路指導の実践 ○進路希望調査(4月・2月) ○全職員・PTA・評議員による面接指導週間(9月) ○各科での進路体験発表会の実施(12月) ○県内企業紹介会の実施(2月)	○学力の定着を図るため、教育課程編成及び学力向上に向けた会議を4回実施することで、PDCAサイクルの推進に努める。 ○基礎的な学力の定着のため、基礎力テストの年間全体平均を7.0点以上を目指す。 ★就職・進学希望者100%の進路実現を目指す。 ○就職希望者は、志望企業や公務員に全員内定を目指す。 ○進学希望者は、志望校全員合格を目指す。 ○県内の企業を紹介し、生徒、保護者、教職員へも知っていただく。	・教育課程委員会及び学力向上対策委員会を活性化させ、より効果的な評価方法を確立する。また、遠隔授業等の整備を進めることで、学力の定着を図る。 ・研究授業や授業公開週間を年2回設定することで、教員が相互に授業を参観し、指導助言を行うことで、授業改善に繋げる。 ・基礎力テスト前日に対策の時間を設けて学力向上に繋げる。 ・希望調査を年2回実施し見学や説明会の機会を紹介し進路意識を高める。 ・PTAや評議員の協力を頂き、2週間に渡り全員2回の面接指導を行う。 ・各科裁量で先輩から後輩へ進路決定までの体験内容を発表し、アドバイスや激励の機会をつくる。 ・県内企業紹介の取り組みを周知し、知っていただく機会につなげる。
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 ●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○豊かな心を育む教育活動を実施し、「生命を尊重する心の大切さがわかった」と回答した生徒95%以上を目指す。 ○生徒アンケートによる早期発見及び職員研修を通じた共通理解を図る。 いじめ防止等について組織的対応ができていると回答した教員95%以上を目指す。	・外部講師による性に関する講話・教育相談講話(7月)、人権・同和教育講演会(10月)を実施する。 ・いじめの対応についての研修・会議を年間に1回以上行う。 ・いじめアンケートを年2回以上実施する。 ・スクールカウンセラーの活用を積極的に行う。
●健康・体づくり	④「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 ⑤「健康を考えて行動できる能力の育成」 ○「運動習慣の改善や定着化」 部活動の活性化 ○「健康を考えて行動できる能力の育成」 体力の向上	④「健康に良い食事をしている」生徒90%以上 ○朝食摂取率を20%以上高める ⑤「健康を考えて行動できる能力の育成」 ○健診の事前指導を工夫し、受診勧告書の発行数を前年度の歯科39%を、今年度35%程度に減らすことを目指す。 ○部活動加入率85%以上を目指す。 ○九州・全国大会への出場・入賞を目指し、日頃の活動を充実させる。 ○校内マラソン男子完走率95%以上、女子完走率85%以上完走を目指す。	・朝食摂取を進める講話、便りの発行を年度内に3回以上実施する。 ・アンケート調査を複数回実施、分析し、生徒の食の意識向上を測る。 ・昨年度のアンケート結果を分析、原因を調査し、摂取率を高めるための情報提供、相談を実施する。 ・メッセージを活用し、全ての保護者に保健だよりを配信し、受診率の向上を図る。 ・部活動体験入部の期間、部活動編成会を実施し、生徒の部活動加入を促進する。 ・部活動紹介、HP部活動ニュースの充実を図る。 ・部活動予算・体育文化奨励費の適正な運用と練習環境の整備・改善を行う。 ・体育科との連携による体力を高める運動の実施とマラソン練習期間を確保する。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・定時退勤日を水曜日に設定し、呼びかけのポスター掲示や職員朝礼時に口頭による啓発を行う。 ・年次休暇を取得しやすい職場環境づくりに努める。 ・部活動休養日を設定し生徒とともに職員の休養取得を促進する。
●特別支援教育の充実	○(学校独自重点取組・任意) ○生徒に関する情報共有と継続的な生徒支援	○(学校独自成果指標・任意) ○生徒情報共有機会を4回以上設定。 ○教職員の特別支援教育の理解度向上70%以上。	・教科担当者会の設定。 ・各学年や各科の会議機会を利用し、生徒の情報共有。 ・職員対象の特別支援教育研修会の実施。

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目

重点取組			
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組
○地域との連携	★学校運営協議会(学校魅力強化委員会)の更なる活用による地域・外部との連携強化 ◎地域や外部と協働し、高校の魅力強化及び志を高める教育の推進	★学校運営協議会を年4回開催する。 ★学校運営協議会で提案された事業を最低1個実現する。 ◎地域から大切にされている雰囲気を感じると答えた生徒の割合を80%以上、教職員の割合を90%以上を目指す。	・4年目となる学校運営協議会のメンバーを刷新し、生徒との意見交換の場を設けるとともに、熟議の充実を図り、地域・外部との連携の充実を図る。 ・学校行事である「地域学習の日」や、生徒会、部活動による地域に出向いた活動の充実を図り、地域を愛し地域から愛される学校づくりに努める。
○唯一無二の学校づくり	★「地域みらい留学」を通した全国募集の更なる推進(セラミック科・デザイン科)と受け入れ生徒の支援体制の確立 ◎生徒のウェルビーイングの向上 ○学校の魅力発信の強化と広報活動の充実	★自分の学校を中学生に勧めることができる生徒の割合83%以上、教職員の割合90%以上を目指す。 ★県外からの体験入学の参加者数48名以上、県外からの受験志願者25名以上を目指す。 ○地域みらい留学志願者5名以上を目指す。 ◎今の生活の満足度(生徒の肯定的回答10段階中の6以上)72%以上を目指す。	・県外からの志願者増に向けて、隣接地区(佐世保・松浦地区)の中学校へ訪問し、体験入学及び地域みらい留学の広報活動を実施する。 ・生徒インスタグラム更新チームによるリアル動画の掲載により、学校の魅力発信及び広報活動の充実を図る。

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり